

ノートを大きく映して説明する ソフトを使って月や星の動きを見せる

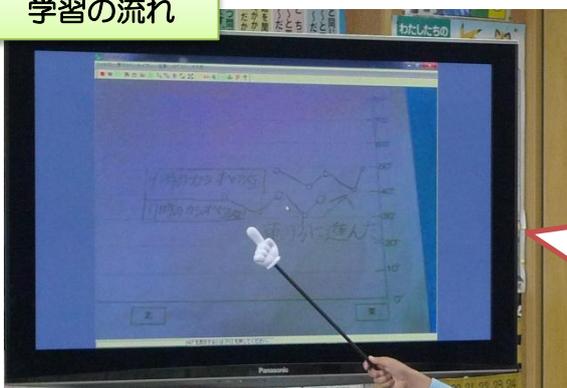
単元名「月と星」(4年)

貝塚市立東山小学校

ICT 活用のポイント

- ・観察ノートや考えを示した図をUSBカメラ(実物投影機でも可)で大きく映し、発表する。
- ・シミュレーションソフトで月や星の動きを繰り返し再生し、動き方のきまりを理解する。

学習の流れ



①(前時の課題であった)白鳥座やカシオペア座の見え方についての観察カードをUSBカメラでデジタルテレビに映しながら発表する。

②本時の課題について予想を立て、グループで考えをまとめ、USBカメラで映し、発表する。(課題)「校庭からみたカシオペア座は、午後9時には、どの位置に動いているか」



活用のポイント

- ・子どもの書いたものを、USBカメラを使いデジタルテレビで映すことで、説明を分かりやすくし発表を集中して聞くことができる。

③課題の確かめとして天文シミュレーションソフトを使い、午後7時と午後9時の天体図を見て、カシオペア座がどのように動いたのかを確かめる。

活用のポイント

- ・気づきを増やすために、カシオペア座を午後7時と午後9時に何度も動かす。校庭の画像を合成すると、星の動きを実感しやすい。



④分かったことをノートに書き、発表し合う。

⑤授業をふりかえり、分かったことをまとめ、感想を書く。

使用する機器・教材等

パソコン、USBカメラ(実物投影機でも可)、デジタルテレビ、プレゼンテーション用マウス
天文シミュレーションソフト